

直木賞作家であり、水木しげるの系譜を受け継ぐ「妖怪小説」の第一人者、京極夏彦氏。その小説の表紙を飾る「妖怪張り子」の造形を例に、「オバケを立体で作るコツ」について語ります。

日時

平成28年7月23日(土)
14時～15時30分

講師

京極 夏彦 氏(作家)

会場

イーグレひめじ3階
あいめっせホール

定員

320名

費用

無料



特別展講演会

妖怪 造形の 技法



豆腐小僧で
ございますっ

申込方法

往復はがきに、①イベント名 ②住所 ③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤電話番号をご記入のうえ、**平成28年7月12日(火)【必着】までに**、**県立歴史博物館 事業企画課**までお送りください。往復はがきは参加希望者1名につき1通ずつお送りください。

※申込み多数の場合は抽選となります。



〒670-0012 兵庫県姫路市本町6-8番地
TEL:079-288-9011 FAX:079-288-9013
<http://www.hyogo-c.ed.jp/~rekihaku-bo>

(上から) 妖怪張り子、五徳猫、姑獲鳥、豆腐小僧 /
すべて荒井良制作、京極夏彦氏蔵